

デザインフェスタ vol.50 火気消防申請について

この度は、デザインフェスタ vol.50 にお申し込み頂きまして、誠にありがとうございます。

火気使用及び、危険物品のお持ち込みに関しまして、火気消防申請が必要となりますので、別紙申請書類にご記入の上、必要書類と共にメールまたは郵送にてご提出頂きますようお願い致します。また、火気及び危険物品についての参考資料として別紙3枚同封致しました。申請の際にご参照下さい。

申請後、レンタル備品係（火気消防申請取りまとめ先）よりお客様宛てに申請内容についてのご連絡が入る場合がございますので、あらかじめご了承ください。

イベント当日は、申請内容及びレイアウトの確認のため消防の査察が行われます。

8:30までに火気使用周辺の設置を完了し、査察終了までブースでの待機をお願い致します。「設置の完了」、「ブース待機」のない場合、展示ができなくなる事をご了承ください。

なお、申請なく当日危険物品の持ち込みや火気使用を発見した場合、即刻撤去して頂きます。また火気使用や危険物品持ち込みにより問題が発生した場合、弊社では一切の責任を負いかねます。

【提出資料】（以下3点全て必須です）

- 1) 火気消防申請書 1.2(平面図・正面図を必ずご記入ください。)
- 2) 当日使用する機器等の取り扱い説明書のコピー(キャンドル販売の方は必要ございません)
- 3) 使用する機器、または展示・販売物の写真(キャンドルの写真提出方法は6枚目を参照)

【注意事項】

申請後の内容の変更は出来ません。申請内容との相違があった場合、即刻撤去して頂きます。

【当日必須設備】

※申請書提出の他、ブース内に下記の設置が必要です。必ずご用意をお願い申し上げます。

- 2) 消火器：10型以上の消火器の設置が必要になります。

(スプレータイプの消火器は使用できませんので予めご了承下さい。使用期限が過ぎていないかご確認下さい。)

- 2) 不燃ボード：火気を使用する物は不燃ボードで囲ってください。

(火気の構造によって例外もある場合がございます)

【書類提出締切】

2019年9月17日（火）必着 ※提出が遅れますと、火気消防申請が出来ません。

【申請書類提出先】

デザインフェスタオフィス

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-20-18-3F

TEL:03-3479-1433 E-mail:fire@designfesta.com

【火気使用について】

1) 火気とは

ア. 気体、液体、固体燃料を使用し、炎、火花を発生させる物、または器具の発熱部を外部に露出するもの。

イ. 電気を熱源とするもので、発熱部が赤熱して見えるもの（発熱部が焼室、風道、庫内に面しているホットプレート、ヘアードライヤー、オーブン等を除く）及び外部に露出した発熱部に可燃物が触れた際に着火するおそれがあるもの（はんだごて、電熱ペンなど、表面温度が約 400℃以上のもの）

1) 火気使用の要件

使用する機器等の位置、構造等が関係法令に定める保安基準に適合している他、次の要件を満たし、必要最小限として下さい。尚、装飾としてのキャンドル、アルコールランプ、お香等の使用は原則として禁止です。（展示として使用する場合も点火は同時に1つのみです。）また消防指導による、ホール内総量規制により、実演の制限をさせて頂く場合がございます。

ア. 使用位置

周囲の可燃物から火災予防上安全な距離を確保して下さい。

カセットコンロ：上方 1m、周囲 15cm。周囲に 15cm の離隔が必要です。スペースを取れない場合は不燃ボードなどで機器に密着しないように囲ってください。

キャンドル等、通常の裸火は上方含め全て周囲 1mの離隔が必要です

イ. 安全措置

- ① ブース内で防火防災担当責任者を定め、監視及び使用後の点検等の体制を講じる
- ② ブース内関係者による監視、消火体制、火気の使用を容易に停止できる措置を講じる
- ③ 火気を使用するブースごとに使用期限を過ぎていない消火器（10 型以上）を設置する
- ④ 火気器具は特性・性能が明確でかつ安全性が確保されているものを使用する
- ⑤ 火炎をだすものは火炎の長さを 10cm 以下とする
- ⑥ 火花が発生する場合、飛散範囲は 10cm 以下とし、不燃ボード等で飛散防止策を講じる
- ⑦ 液体燃料を熱源とする場合は必要最小限とし、開場中は給油しない
- ⑧ 固体燃料を熱源とする火気使用機器を使用する際、実演のみとし必要最小限とする
- ⑨ 火気は入場者等に危険を及ぼさないよう細心の注意を図り防護措置を講じる
- ⑩ 可燃物が転倒または落下しないよう、ウエイト等で固定し、下部に不燃ボードを敷く
- ⑪ 火気を使用する機器の下に不燃ボードを敷くなど防護措置を講じる
- ⑫ 火薬類の使用は禁ずる

火気使用の該当例

- ・ロウソク、お香、線香などの実演（点火は同時に1つしか出来ません）
- ・上記の物、又はそれ以外の物に火をつける際使用するライター、マッチ
- ・ガスコンロ、カセットコンロ、ガスバーナーなど、火炎の露出している機器等
- ・はんだごて、電熱ペンなど、温度設定が 400℃を超える温度設定が可能な機器
- ・溶断、溶接など、火花を発生させる行為
- ・レーザー加工機、レーザープリンターなど立体物に印刷や加工をするような特殊機材を

使用される場合は、オフィスまでご相談ください。

【危険物品の持込みについて】

1) 危険物品とは

ア. 危険物

ガソリン、軽油等の引火性液体、酸化性固体、液体などの危険物

イ. 火薬類

火薬類取締法で定める火薬、爆薬、火工品及びがん具煙火

ウ. 指定可燃物

可燃性液体類、及び可燃性個体類。(キャンドル、ロウソクなど)

エ. 可燃性ガス

プロパン、水素、ブタン、アセチレン、アンモニアガスなど

2) 危険物の持込みの要件（次の要件を満たし、必要最小限とする）

ア. 次の①から④に値する場合は、「危険物品」に該当する物品であっても、必要最小限であれば規制対象となりません。

- ① 展示・販売品（実演を伴わず空気に触れない状態での展示・販売のみを行う場合、容器や包装資材に密閉されているものに限る）
- ② 展示のみを行う車輛のタンク内の燃料や潤滑油など
- ③ 展示されるモーター、油圧機等に密閉状態で内蔵されている潤滑油など
- ④ フライパンや鉄板にひく油（調理用油、ただし揚げ物に使用するものは除く）

イ. 安全措置

- ① ブース内で防火防災担当責任者を定め、監視及び使用後の点検等の体制を講じる
- ② ブース内関係者による監視、消火等の体制を講じる
- ③ 危険物を持ち込むブースごとに使用期限を過ぎていない消火器(10型以上)を設置
- ④ 液体危険物を飛散させるものは不燃ボード等で飛散防止策を講じる
- ⑤ 混合発火のおそれがある危険物は同一場所では取り扱わない
- ⑥ 開場中は液体危険物の補給を行わない
- ⑦ がん具用煙火は他の物品と混合させず、火薬量 5kg を超える場合は、蓋のある不燃材の容器で取り扱う
- ⑧ 保管は、密封をし、他の物品と隔離する

危険物品の持込みの該当例

- ・アルコール、石油等の引火系液体（機械の作動オイル・スプレー缶内のアルコール）
- ・ガスボンベなどの引火性ガスを含む容器
- ・ロウソク、キャンドル等の固形燃料（ラッピング資材などに包装されていなければ該当しません）
- ・内容物にアルコールを使用した化粧品・アルマオイル
- ・クラッカーなど火薬を含む玩具
- ・引火性の絵の具、ペンキ等の塗料
- ・レーザー加工機、レーザープリンターなどの特殊機材に使われるインクは、危険物に該当する場合がございます。使用される場合は、オフィスまでご相談ください。

デザインフェスタ vol.50 火気消防申請用紙 1

*提出期限：2019年 9月 17日（火） 必着

提出が遅れますと申請が出来ません。当日無断でお持込された場合は即刻撤去して頂きます。

- (1) 契約 ID: _____ 代表者氏名: _____ 出展日: _____
- (2) 出展名: _____
- (3) メールアドレス: _____
- (4) 当日連絡先（携帯電話）: _____

①実演内容

(例) キャンドルの展示と実演

②火気の使用

器具名（危険物名）/内容物	熱源	最大消費量（kW/毎時）	使用台数	使用目的
(例) ライター	ブタンガス		1 個	キャンドル点火のため

Kcal→Kw の変換式 (Kcal ÷ 860 =Kw)

③危険物の持込み

(例) 名称 パラフィンキャンドル	持ち込み量(重量×個数) 100g × 10 個	容器の種類 プラスチックケース	実演 有 ・無	使用目的 展示・販売
第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、アルコール類、 可燃性固体類 、その他危険物 ()				
名称	持ち込み量(重量×個数)	容器の種類	実演 有・無	使用目的
第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、アルコール類、可燃性固体類、その他危険物 ()				
名称	持ち込み量(重量×個数)	容器の種類	実演 有・無	使用目的
第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、アルコール類、可燃性固体類、その他危険物 ()				
名称	持ち込み量(重量×個数)	容器の種類	実演 有・無	使用目的
第一石油類、第二石油類、第三石油類、第四石油類、アルコール類、可燃性固体類、その他危険物 ()				

※枠内におさまらない分は別紙にてお願いします。

デザインフェスタ vol.50 火気消防申請用紙 2

契約 ID: _____ 代表者氏名: _____ 出展日: _____

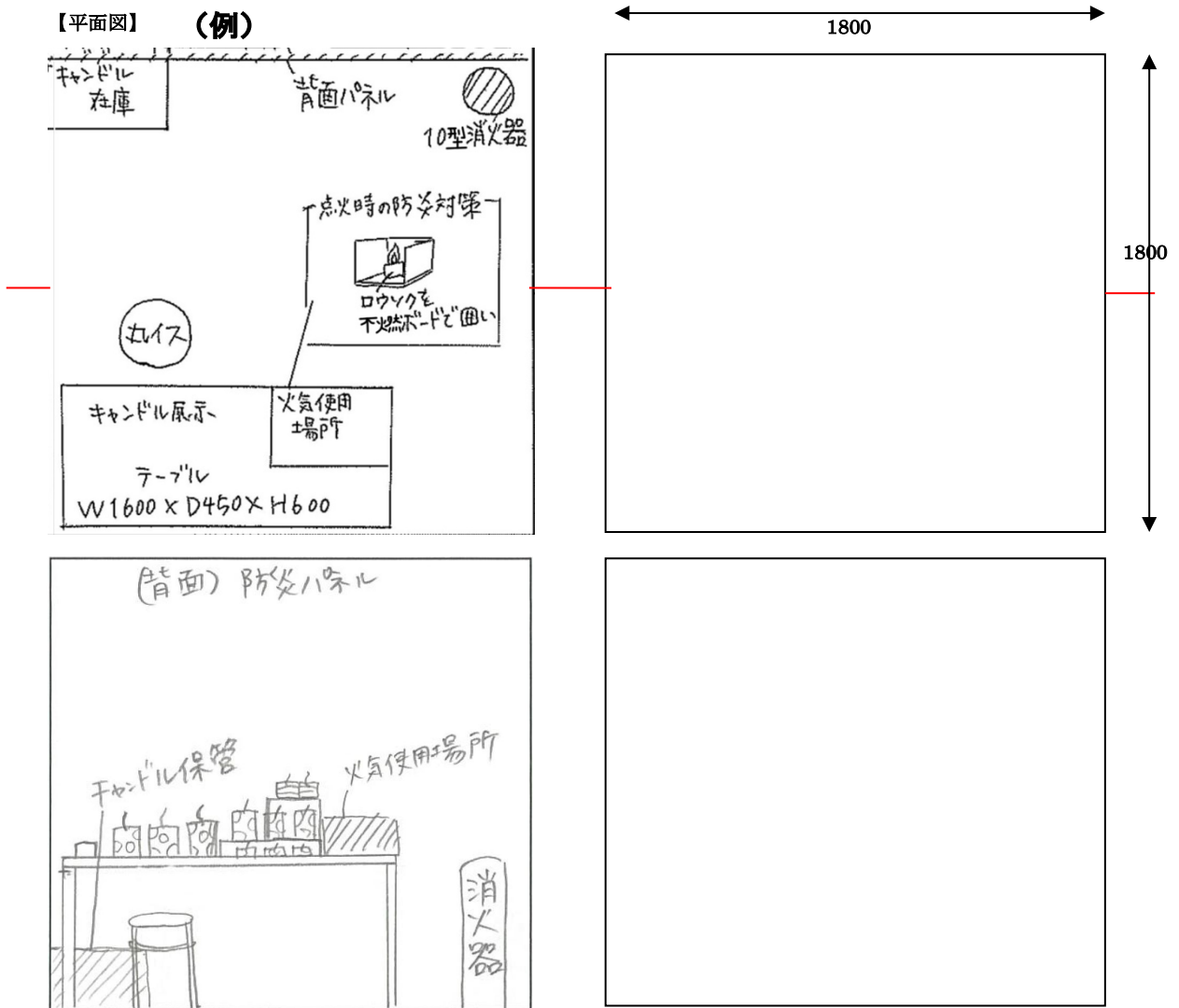
(1) ブースプラン/レイアウト

- ※S ブースでご出展予定の方は、下記図面を半分に区切りご記入ください。
- ※キャンドルなどを展示販売される方は、机や什器にどのようにレイアウトされるのかを平面図へご記入ください。
- ※特殊機器を使用される方は、平面図、正面図ともに記載をお願い致します。
- ※消火器及び、火気を使用される方は**火気**、**耐火ボード**の設置場所を必ずご記入ください。
- ※消火器サイズは必ず 10 号以上で使用期限の過ぎていないものをご用意ください。

【平面図】 □Sブース □ワークショップブース
(いずれかにチェックをお願いします)

S ブースでご出展の方は枠中央の赤線部で分割してください。

【平面図】 (例)



【キャンドルを展示・販売する方は必ずご参照ください】

◆写真の提出方法は以下になります。

*キャンドルの写真を枠内に貼り付けてください。

*使用素材、グラム数、個数を例にならってご記入ください。

※なお、郵送にて写真をお送り頂く方は、写真の裏面に使用素材、グラム数、個数を記載してください。

(例)

使用素材： パラフィン グラム数×個数： 80g×20 個

使用素材： グラム数×個数：

使用素材： グラム数×個数：

使用素材： グラム数×個数：

使用素材： グラム数×個数：

使用素材： グラム数×個数：